

は
ち
ち
み<http://hacchi.jp>

このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…
「はっち」が贈る、おいしい情報。

マチニワシンボルオブジェ「水の樹」
「海の樹構想」からヒントを得て

マチニワを歩いてみよう
マチニワ大解剖・マチニワの使い方

はっち市・DASHIJIN・こどもはっち・カフェ・八戸まちの人
今年の見所・秋冬スケジュール・リニューアルオープン・1階カフェオープン・まちで頑張るあの人

vol.32

event program イベント情報

hacchi

■澤向直子 × 佐藤慎悟「道」Vol.2

10/26(金) 開場 18:30 開演 19:00
昨年、大好評だった澤向直子 × 佐藤慎悟「道」、第二弾です。ウィーン古典派から現代まで。クラシック、タンゴ、映画音楽をヴィオラとピアノで斬新に！最後までお楽しみ満載でお届けします。
チケット：大人 2,000 円 学生 1,500 円 未就学児 500 円
問合せ：sssn.10.28@gmail.com 050-3550-7075

* ■38 FUUD FOOD MARCHE

11/3(土・祝)・11/4日(日)
マルシェ：11:00～16:00
ダイニング：18:00～21:00 (3日のみ)※前売りチケット制
風土と食でつながる地域生産者の「マルシェ」、アンバサダー（地元料理家）による一夜限りの「ダイニング」を開催。“新たな地産地消の楽しみ方”を提案し、この街の食文化にスポットを当てます。

■八戸市議会 第 8 回議会報告会

11/11(日) 14:00～15:30
市民の皆さんにわかりやすく開かれた議会を目指した取り組みとして、議会報告会を開催し、市議会の活動概要などを説明するほか、市民のみなさんと意見交換を行います。多くの方のご参加をお待ちしております。
問合せ：八戸市議会事務局庶務課 0178-43-2145

■八戸いちごマルシェ

11/17(土)・11/18(日) 10:00～17:00
「八戸いちご」を使ったクリスマスケーキや大福づくり体験、スイーツの実演販売や、菓子コンクールの投票など、八戸いちごとお菓子づくりのイベントです。
(スイーツバイキング) 11/17 (土)①12:30-13:30②14:00-15:00、各回 70 名、大人 1,500 円 / 小学生以下 700 円
※11/1 (木)よりはっちインフォメーションにてチケット販売開始

* ■はっち市 2018

11/23日(金・祝) 12:00～20:00
11/24日(土) 10:00～18:00
11/25日(日) 10:00～17:00
はっちがちゃちゃな街になる「街中クラフト市」。今年のテーマは「ボーダーを越えよう」。全国からさまざまなジャンルのクラフト作家が集結し、自慢の逸品を並べます。地元の人気レストランの特別出店もあります。

* ■はっちのクリスマス 2018

12/1(土)～12/25(火)
クリスマスツリーやイルミネーションの展示のほか、クリスマスをテーマにした体験・作品展示を実施します。

* ■はっちのお正月 2019

1/2(水) 11:00～
はっちのお正月 2019 は、市内高校2校による書道ガールズ新春パフォーマンスのほか、マジックショーや法霊神楽の一斉歯打ちなど、お正月にふさわしい見ごたえのある企画が目白押しです。

■第 23 回 NHK ハート展

1/11(金)～1/17(木) 9:00～21:00
「NHKハート展」は、詩とアートを組み合わせた展覧会です。障がいのある人がつづった詩に込められた思いを、各界の著名人やアーティストがハートをモチーフにアート作品で表現しています。50 編の詩が、50 のアートと出会い、新たなアートの世界を繰り広げます。障がいのある人もない人も互いに理解し合い、「ともに生きる社会」の実現を目指して平成6年よりスタートし、今回で 23 回を迎えます。 問合せ：八戸市障がい福祉課 0178-43-9106

* ■ストリート投げ銭ライブ in はっち

19:00～20:00
水曜日の夜、はっちひろばがライブ会場に変身！
〈出演〉10/24 竹林文和&ASAKO (J-POP、フォークソング)
11/14 THE BEAT WAVE (ザ・ビートルズほかポップス)
11/28 色彩シリーズ (ジャズ、フランス音楽)
12/19 星川七恵 (演歌、歌謡曲)
1/9 やどりぎ (ポップス)

* ■和日カフェ～日本文化に親しむ日～

10/21(日)・12/16(日)・1/20(日)
[10/21 (日)]
こけだま体験 / さをり織り作品展・体験 / 金継ぎ、ステンドグラス、しおり作りワークショップ / 振袖着付け体験 / お茶席 / 季節の和風お弁当づくり
[12/16 (日)]
和装小物作りワークショップ / 篆刻作品展 / いけ花体験 / 投扇興体験 / 季節の和風お弁当づくり
[1/20 (日)]
箏・尺八の演奏会 / 帯結び箏・和装小物作り・着付け体験 / 鳥獣戯画のオリジナルグッズ作り / いけばな体験・作品展 / 季節の和風弁当づくり

はっちやマチニワで開催されるイベントの一部です。詳しくはホームページのイベントスケジュールをご覧ください。*が付いているイベントは、はっちの自主事業です。

Topic

南郷アートプロジェクト 2018 なんごう小さな芸術祭

10/20(土)～11/11(日)

【公演】 中屋敷法に演劇公演「くじらむら」(10/27、10/28)
大駱駝艦舞踏公演「おじょう藤九郎さま」(11/3、11/4)

【展示】 なんごうカルタ (10/20～11/11)
(南郷の集落にまつわるエピソードを題材としたカルタ)
なんごう彩り研究所 (10/20～11/11)
(南郷の四季の色を草木染めで表現した作品)
なんごうプレゼンテーション (八戸ブックセンター 10/6～10/21、八戸市南郷文化ホール 10/26～11/11)
(南郷の魅力をプロモーション映像や写真で紹介)

【トークイベント】 ローカルアートミーティング (11/2)

【パフォーマンス】 南郷紅白大演会 (10/20)

すまもり村の収穫ショー (11/11)

【ツアー】 南郷とアートを巡るバスツアー

(10/20、10/26、10/28、11/4、11/9、11/10、11/11)

大駱駝艦「おじょう藤九郎さま公演風景 (平成 26 年度)



※そのほか関連イベントあり。詳しくはウェブをご覧ください。問合せ：八戸市南郷文化ホール 0178-60-8080 <http://nangoartproject.jp>

八戸ポータルミュージアム「はっち」は
地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。
まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動を
サポートする多様な設備を備えています。

八戸ポータルミュージアム はっち

〒031-0032 青森県八戸市三日町 11-1
TEL | 0178-22-8228 FAX | 0178-22-8808 WEB | <http://hacchi.jp>
開館時間 | 9:00～21:00 ※こどもはっち 9:30～16:30
休館日 | 毎月第 2 火曜日 (祝日の場合その翌日)、12 月 31 日及び 1 月 1 日
Facebook | [facebook.com/hacchi8](https://www.facebook.com/hacchi8) Twitter | @hacchi_staff
各社新聞、コミュニティラジオ局 BeFM でも情報発信中です。

【交通のご案内】
バス／八戸駅東口からバス八戸市中心街方面行き[約25分]
八戸中心街ターミナル(八日町)下車すぐ
鉄 道／八戸駅からJR八戸線本八戸駅下車[徒歩約10分]
航空機／三沢空港から八戸市内シャトルバス[約55分]
フェリー／八戸港フェリーターミナルから車[約15分]
車 ／八戸駅から車[約20分]
※一般駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

はっちリレーショナルプレス 【はちみつ】 vol. 32
発行：八戸市 まちづくり文化スポーツ部 八戸ポータルミュージアム
発行月：平成 30 年 10 月 部数：18,000 部 印刷経費：1 部あたり 27 円
表紙協力：大野製地店

information 市内施設情報

八戸市博物館

■国重要文化財指定記念特別展
「丹後平古墳群と蝦夷の世界」

10/6(土)～11/4(日)



今年 3 月、丹後平古墳群出土品 195 点が、国の重要文化財に指定されました。改めて出土品を一堂に会し、最新の調査研究成果から「蝦夷の世界」を考えます。11 月 3 日文化の日は、博物館・史跡根城の広場・南郷歴史民俗資料館は無料開放となります。

🕒 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
🗓 月曜日 (第一月曜日、祝日の場合は開館)
祝日の翌日 (土・日曜日の場合は開館)、12/27～1/4
☎ 0178-44-8111
📍 <http://www.hachinohe.ed.jp/haku/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

■「伝える・大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 Vol.4」

12/15(土)～3/21(木・祝)



大正から昭和初期の是川遺跡とその出土品は、ガラス乾板に撮影されていきました。保存修理とデジタル化によって写し出された当時の様子を紹介します。また、会期初日には記念イベントを開催しますので、ぜひご参加ください。

ガラス乾板に記録された是川遺跡出土の土偶

🕒 9:00～17:00 (受付は16:30まで)
🗓 月曜日 (祝日・振替休日の場合は開館)
祝日・振替休日の翌日 (土・日曜日、祝日の場合は開館)
12/27～1/4
☎ 0178-38-9511
📍 <http://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸ブックセンター

■紙から本ができるまで展 2018

10/27(土)～1/27(日)



八戸で作られた紙から、本ができるまでの過程を紹介する展示です。今回は八戸出身の詩人・村次郎を取りあげ、管啓次郎さんが新たに選定した詩集が、展示にあわせて刊行されます。また、村次郎の遺品なども展示し、郷土を愛した詩人の姿を紹介します。
🕒 10:00～20:00
🗓 火曜日 (祝日の場合その翌平日)、12/29～1/1
☎ 0178-20-8368
📍 <https://8book.jp/>

はちのへまちなかアートラボ Co部屋

(八戸市新美術館建設推進室)

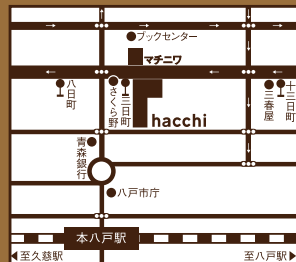
■写真のまち八戸 トークイベント
「芸術としてみる写真～写真家の視点から」

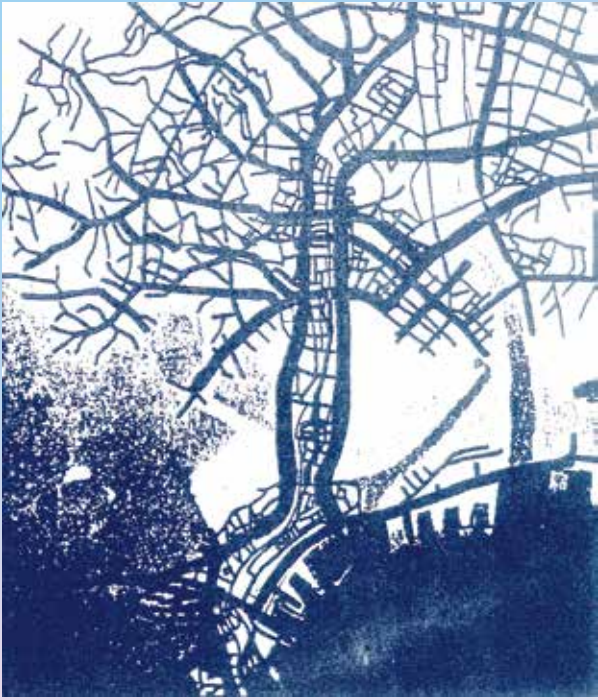
11/24(土) 15:00～17:00



芸術として優れた写真とはどんなものなのか、写真家の視点から写真芸術の鑑賞のポイントを、気軽に楽しめる写真集を題材にお話しいただきます。
講師：米内安芸 (フォトグラファー)
会場：八戸ブックセンター
参加無料、小学生以上対象

🕒 10:00～17:00
🗓 土日祝日、12/29～1/3
☎ 0178-45-8338
📍 <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/>





モチーフとなった「海の樹」
海の中に根をはり、海からの滋養をもらい、大きく育つ1本の樹のように見える。

昭和50年11月、その年の春に落成したばかりの八戸市公会堂で、八戸青年会議所主催の「市民の夕べ」が開かれました。八戸を愛する心を育てる「フ・はちのへ運動」の始まりでもあります。プログラムのメインは一本のスライド『八戸・風と土と心』の上映でした。この街の未来のため、当時の八戸青年会議所のメンバーが、約2年がかりで勉強を重ね、議論を尽くし、あらゆる角度から八戸の歴史と未来を見つめた集大成のスライドです。その中で「海の樹構想」は紹介されました。今回、当時の

青年会議所メンバーで、スライド制作に携わった熊谷さんにお話を伺いました。

熊谷さんたちがまず取り組んだのは、八戸の発展の歴史を知ること、そして自分たちの足もとを見つめることでした。

八戸の人々は火山灰の瘦せた土地で凄惨な飢饉に見舞われながらも、海を活路としてなんとか生き延びてきました。やがて町村が手を組み「八戸市」となり、大きな港を手に入れると、海との繋がりはより強いものとなりました。漁業のみならず新産業都市として、

商業も工業も農業も相互に成長を続けてきたのです。

ところが日本の経済成長は低下をはじめ、石油ショックによる煽りもあり、企業は緊縮を迫られる時代を迎えました。地場産業にも否応なく陰りが差し始めました。

熊谷さんたちは各産業同士が、近代化・合理化とともに関係が希薄になっていることに危惧を覚え、

「地場産業は相互依存しているからこの方が成長する。なんとかしてこの街の一体感を取り戻したい。これからどうしたらいいのだから、いや、どんな街にしていくなさざるうか。」熊谷さんたちメンバーは考えます。

そして導き出した答えは、八戸を「知り」、「愛して」、「共につくる」ことでした。土地への思いや誇りをベースにした街づくりです。都会を真似るだけの街づくりではなく「八戸ならではのスタンダード」、「郷土を思う心をつにするもの」、「街の根底にたゆまず流れている精神母胎のようなもの」を追求することでした。

ある日、協働でビジョンづくりに励んでいたシンクタンクの研究員から、一枚の不思議な絵が提示されました。それは八戸の主要道路や川を塗りつぶしたものでした。まるで海から生える一本の樹木のように、その樹木は港に生える根っこから海の滋養を吸い上げ、幹を伝って力強く街へと枝葉を伸ばしている姿でした。海からの無限の滋養が街へと浸み渡る。それは「海

「水の樹」は昭和40年代後半に生まれた「海の樹構想」を元に誕生しました。

「八戸を愛する心」を育もうとする若者たちの強い想いが半世紀の時を越えて、ここ、マチニワへと繋がります。



ここから、花を咲かせよう



八戸漁業指導協会 会長理事
熊谷 拓治 さん

の樹」、まさに八戸の姿そのものでした。

はるか昔から、八戸には海からいろいろなものが入ってきました。モノだけでなく人も。そして地元

の風土に同化して、共に歩んできました。熊谷さんは言います。「外から吹いてくるのは風、ここにあるのは土、そこから生まれるのが心。この街は『海の樹』です。」

この考えをメンバーで共有し、「海の樹」に花を咲かせよう、咲いている花を探そう、名もなく埋もれている花を見つけ、街づくりに生かそう、という思いが強まってきました。そして、この決意を八戸青年会議所のメンバーが市民に呼びかけたのが「フ・はちのへ運動」の一つ、「海の樹構想」です。

この考えを元に、マチニワの象徴として「水の樹」が生まれました。マチニワが市民の新しい居場所・活動の場となり、新しいコミュニティが生まれ、これからの世代へと繋げ育っていく空間であるようにと、八戸のまちと人々の挑戦を見守っています。

マチニワで、ひときわ目を引くシンボルオブジェ「水の樹」。

八戸の中心部に根をはりながら

人々の交流の芽が育まれ

新たなコミュニティの花が咲き

大きく、大きく育っていく様子を優しく見守ります。



マチニワロゴマーク

マチニワが人々のコミュニティや繋がりを生み、将来に渡って人々に愛される施設となることを願い、「水の樹」の花芽が美しい花となり、結実し、やがて新たな芽吹きに繋がる唯一の流れを水滴のメビウスリングとともに表現したものです。

シンボルオブジェ「水の樹」同様、森本千絵さんがデザイン監修したロゴマークです。

森本千絵

(株式会社 goen*主宰、アートディレクター、三沢市出身)

朝の連続テレビドラマ小説「半分、青い。」のポスター、Canon、KIRINなどの企業広告、松任谷由実、Mr.Childrenなどのアートワーク、映画・舞台の美術、動物園や保育園の空間ディレクションなど活動は多岐に渡り数々の賞を受賞。八戸ポータルミュージアム はっちのオープニング事業「八戸レビュウ」の冊子制作にあたり装丁を担当。

hello!

マチニワを
歩いてみよう!

マチニワ大解剖

水の樹の周りには、ホッピングと
ミストが!子どもたちに大人気!
(冬季はお休みします)

水飲み場

水の樹内には大小2つの水飲み
場があります。水の樹は世界一
大きな水飲み場かも!?

シンボルオブジェ「水の樹」

枝の一部がししおどしになっていて、
1時間ごとに音で時刻をお知らせし
ます。夜にはライトアップされ、八戸の
新しいフオトスポットとなっています。

ホッピング&ミスト



マチニワ

ベンチやテーブルが常設してあるので、待ち合
わせやバスの待ち時間などにお使いください。2階には八戸のガラス作家・石橋忠三郎さ
ん作のオブジェが。三日町側の「風の広場」もイベントスペ
ースとして使用できます。23:00 までオープンしているので飲み会後
の休憩にもご利用ください。

みんなとつながるまちなかガーデン♪

プランター

マチニワを彩る植栽は市民のみなさんの手作り。寄せ
植えだけではなく、プランターもマチニワのロゴをモ
チーフにした柄でペイントし、一から組み立てました!

給排水栓・トイレ完備

マチニワ内には給排水栓が6か所
設置されています。食のイベントや
ワークショップなど、水が必要なイ
ベントで活用できます。「庭」ですがトイレはばっちり完
備!多目的トイレにはおむつ交換
台もあるので、親子で安心してマ
チニワでくつろいでくださいね!中心街のバス運行状況がわかるモ
ニターがあります。これで安心して
バスの時間までゆっくりできますね!

「マチニワごはん」はいかが?

中心街でもこんな動きが!
八戸中心街のテイクアウト情報をまとめた
「マチニワごはん」のチラシが発行されます。
ランチや休憩時間に中心街でテイクアウトし
て、マチニワでご飯はいかがですか!
(右は商品に貼られる「マチニワごはん」のステッカー)

マチニワ



ごはん

マチニワの使い方は無限大∞

小さなスペースでの利用「行為使用」

小さなスペースだけ使う「行為使用」という借り方もあります。広いエリア
を借りるほどの規模ではないけれど、ちょっとしたスペースで販売やワーク
ショップ、パフォーマンスをしたい、という方にオススメ!お手頃価格なの
で、いろいろとチャレンジしてみてくださいね!

行為の種類	単位	金額	対象
興行・物販販売等	標準 12㎡ / 1時間	100円	ストリートパフォーマンスや 移動販売車での販売等
募金等	1件 1日につき	2,000円	募金活動やチラシ配布等



茶居花さん

実際に使ってみました!

実店舗は郊外なので、中心街の人の
集まる場所で販売できるのは大きい
ですね。ケータリングでの販路を
広げたいと思っていたところだった
ので、いいタイミングでマチニワが
できました!

大型ビジョン

203インチの大型ビジョンがあり、パブリックビューイングやトークイベント、
ネット中継などに活用できます。「釜石宝印ビール」で一斉乾杯
in マチニワ実行委員会のみなさん

実際に使ってみました!

マチニワは一点集中の場の作り
方じゃないのがいいですね。多様性を
活かしながら、開催イベントとそれ
ぞれの過ごし方がゆるやかに共存し
ている感じがしました。

パフォーマンス & ライブ

簡易音響設備や貸出スポットライトもあります。広場をパフォーマンスス
ペースとして大きく使ったり、踊り場をステージとして使うこともできます。

DANCE WAG のみなさん

実際に使ってみました!

パフォーマーとしては、登場できる場
所がたくさんあるのが面白かったです。
開けた空間でいろんな角度から鑑賞で
きるスペースなので、ステージからの
視線をあちこちにかけられるのが新鮮
でした。

フード & クラフト

イベント用電源や給排水栓の設備も充実しているので、お店の出店に便利!
1階全域とステージを併せて使うと、マチニワ全体で雰囲気作りができます。八戸パルフェス in マチニワ
加藤陽介さん・菊池弘一朗さん

実際に使ってみました!

空が見えて、開放的で、フードイベン
トをやるにはとても気分がいい!同世代の店
主たちとこんな空間でイベントをやりたい
と話していたので、実現できて感慨深い
です。また第2回、第3回と続けていく
予定です。

new open

「ビストロ Sukegawa」
はっち 1 階にフレンチレストランがオープン！



フランス料理店として八戸中心街でお店を営んできた“ビストロ Sukegawa”。ブイヤベースフェスタやグルメツアーズにも毎回参加しており、ファンも多いのではないのでしょうか。9月12日、はっち 1 階のカフェスペースに移転オープンしました。「もっとカジュアルに地元の食材とフレンチを楽しんで！」と、本格フレンチでありながら気軽にオーダーできるメニューをご用意しています。



ビストロ Sukegawa
☎ 11:30 ~ 21:00
ランチタイム 11:30-14:00
ディナータイム 15:00-17:00
ディナータイム 18:00-21:00
☎ 月曜日、第 2 火曜日
☎ 0178-45-0557



スペースの床が
気持ちいいよ！



こどもはっち kodomo hacchi

4階での営業再開！
床面が綺麗にリニューアルしました

これまで多くの子どもたちにご利用いただってきた「こどもはっち」。オープンから7年が経過し、床材にささくれが目立つようになってきたため、9月11日よりお休みし、床の補修を行いました。約1か月に渡ってお休みしていましたが、無事に床の補修が終わり10月3日に営業再開となりました。再開当日は、こどもはっちの再オープンを心待ちにしていた家族連れで賑わいました。

床の補修が終わり開館当初の木の香りが戻り、足ざわりのよくなった床でこれまで以上に安全に遊ぶことができます。みなさまのご利用をお待ちしております。

こどもはっち

☎ 9:30~16:30 (1月2日・3日は10:00~16:30)

☎ 毎月第 2 火曜日 (祝日の場合その翌日)

年末年始 12/29~1/1

☎ 100 円 (未就学児は無料) ☎ 0178-22-5822

☎ http://kodomohacchi.net

※混雑時には入場制限をさせていただく場合があります。

クリスマス会

クリスマスにちなんだ歌やお話、サンタさんからのプレゼントもあります。

【日時】12月23日(日)10:30~12:00

【対象】就学前のお子さんご家族

【定員】親子 60 組 【料金】子ども 1 人 200 円

【予約】12月3日(月)9:30~受付開始

おもちつき会

はっぴを着てお餅つきの体験ができます。先着順でお餅のお振る舞いもあります。

【日時】1月13日(日)

10:30~11:30

【対象】就学前のお子さんご家族

【料金】無料 【予約】不要・当日受付

おひなまつり会

こどもはっちのひな壇の前に、白酒や雛菓子でお祝いしましょう。

【日時】3月3日(日)①10:30~

②10:45~ ③11:00~ ④11:15~

【料金】無料 (入場料別途)

【予約】不要・当日受付

Events



1.「みろく横丁ラリー」の受付で司会を務める中居さん。2.八戸でも積極的に音楽活動をしています。はっちのイベントにも出演していただきました！

平成14年、東北新幹線・八戸駅延伸開業の年に八戸市の中心街にオープンした「八戸屋台村みろく横丁」。八戸市中心街の三日町と六日町を繋ぐ歩行者専用の路地を設け、その両町の頭文字からみろく横丁と名付けられました。そのみろく横丁を運営している有明会社「北のグルメ都市」の中居さんにお話を伺いました。中居さんの出身は埼玉県で、高校卒業後、本格的に音楽活動を始め、友人と二人でユニットを組みライブなどを行っていたとのこと。奥様の実家がこちらだったこともあり結婚をきっかけに埼玉県から八戸市へ移り、八戸生活も四年目に突入。八戸に引っ越してから音楽活動は続けていて、イベントではギターを手にその腕前を披露することも。今後やりたいことを伺うと、「今

は、お互い離れているがユニットが解散した訳ではないので、いつかお互い住んでいるところでライブができれば、また、東京など県外に住んでいる友人のミュージシャンを八戸に招いてライブを開催するのにも面白そう」と中居さん。音楽を通じて、八戸でも多くの友人ができたそう、その輪はこれからも広がっていくそうです。音楽活動以外でも、みろく横丁の運営に携わっている関係から、「横丁連合飲みだおれラリー」などの中心街のイベントでは、運営スタッフとして奮闘中。来年は、「全国路地サミット」が八戸で開催されることもあり、「横丁同士が今以上に連携することでもっと多くの方が中心街に足を運んでくれるのではないかな。各横丁との橋渡し役になりたい」と意気込んでいます。観光地

域づくりを推進する「仮称」八戸DMO」の展開を見越して、「青森県の玄関口の一つである八戸市から近隣町村も含めた魅力を発信したい。みろく横丁としても連携できることを探していきたい。」と、中心街のことでなく八戸市や近隣町村の活性化にも目を向け日々プランニングする毎日。八戸にはいいところがたくさんあるので、県内外に向けて情報を発信していきたいと今後の抱負を語ります。

来年四月には、みろく横丁のお店の入れ換えが行われ、リニューアルされます。今後は、マチニワとの連携についても何か考えてみたいと意気込む中居さん。みろく横丁、そして、中居さんの活躍が期待されます。

八戸屋台村みろく横丁

★ 青森県八戸市六日町
☎ 0178-29-0815
(事務局：北のグルメ都市)
http://36yokocho.com/



Aozora market

「青空商店」がマチニワに出店！

昨年のはっち市に初登場した盛岡で人気の「青空商店」。はっち 5 階スペースで音楽を流しながら、染め体験や、こだわりが感じられる雑貨やフードの販売が大盛況でした。今年は、なんと！はっち向かいの「マチニワ」に登場！昨年とはまた一味違った雰囲気でお楽しみそうです。雑貨・音楽・フードが集う、賑やかな空間をお楽しみに！

手仕事を
間近で見よう！

今年は職人さんの技を間近で見ることができる「匠の仕事場」が登場します！2 組の職人さんが熟練された職人技を披露してください。普段は見る事ができない手仕事をご覧ください。

上平竹細工店さん／竹細工

岩手県一戸町にある「上平竹細工店」さんは、はっち市の常連のお店です。全国でも数少ない竹細工店を二代目福也さんと弟の敬さん二人で営んでいます。長い竹ひごで編みこまれていく竹細工を間近で見ることができまよ。



大久保直次郎さん／八幡馬

八戸を中心とする南部地方に古くからある郷土玩具の八幡馬。直次郎さんは鉋一本で仕上げる伝統的な技法を守って制作しています。はっち正面玄関の八幡馬も直次郎さんの作品です。八幡馬制作の貴重な現場をご覧ください。



LIVE!!

81 JIVES- エイティワン・ジャイヴス Akiko & Bluemoon Quartet Live & Dance



【日時】11月24日(土)
開場 18:00 開演 18:30
【会場】はっち2階 シアター2
【料金】前売り 3,000 円 / 当日 3,500 円
(オールスタンディング)
※10月10日(水)よりはっち1階
インフォメーションにて販売

はっち市スケジュール

11/23 (金・祝) 12:00~20:00
11/24 (土) 10:00~18:00
11/25 (日) 10:00~17:00

■はっち市に伴う開館時間の変更■

11/21 (水) 17:00 閉館
11/22 (木) 臨時休館日
11/26 (月) 臨時休館日



「DASHIJIN (だしじん)」とは、2016 年から実施している、八戸三社大祭をめぐる人と人とのつながりや独自の造形美を市民自らが見つけ直し、八戸市民が世代や立場を超えて、ユニークな造形とコミュニケーションを楽しむ市民プロジェクトです。

DASHIJIN LAND

2019 年 2 月、八戸の街にアナログな遊園地「DASHIJIN LAND」が出現します！山車人形や発泡スチロール彫刻で彩られた「DASHIJIN LAND」のメインアトラクションは自転車動力のメリーゴーランド！こちらはアーティストユニット KOSUGE1-16 の土谷享さん、2016 年から関わっているアーティスト 住中浩史さん、そして山車組のみなさんのご協力により、市民の方々と一緒に創りあげていくプロジェクトです。「DASHIJIN LAND」のオープンに向けて、山車組の方々が造形物を公開で制作する「DASHIJIN 小屋」をはっちに設け、2/4 スタートの「DASHIJIN 村」では、山車作りに参加したことがない方でも装飾や小物作りにご参加いただけますよ。いつもと違う視点で山車づくり文化を見つめ直し、楽しさを分かち合いながら制作体験をしてみませんか？

スケジュール

● DASHIJIN 小屋 1/14 (月・祝) ~ 1/31 (木) はっち5階共同スタジオ
● DASHIJIN 村 2/4 (月) ~ 2/11 (月・祝) はっち1階はっちひろば
● DASHIJIN LAND 2/9 (土) ~ 2/11 (月・祝) マチニワ



はっち市

8 回目を迎えるはっち市。今年は新たにマチニワ会場が増えたり、手仕事実演ブースもあつたりと見所満載。休憩スペースも増えたので、ゆっくりとフードも楽しめやすくなりました。全国の作家さんとの出会いをお楽しみに！